

# コープ災害ボランティア ネットワークニュース

第83号

発行 東京都生活協同組合連合会  
コープ災害ボランティア  
ネットワーク幹事会  
2016年2月  
Tel 03-6844-3563

## 2015 みやけじまお掃除ボランティア(2015/12/18~12/20)



東京災害ボランティアネットワークからの呼びかけで、今年も年末の大掃除と交流のため、CO 災ボ会員・各生協に参加募集し 11 名の申し込みがありました。

三宅島の噴火避難から 16 年が経ちましたが、島のあちらこちらにまだまだその爪痕が残っていました。その中で島民の方々の笑顔に出会えることができ、ボランティアとして寄り添い、交流する時間を持つことができました。

**12月18日(金)**

**22:30 東京港竹芝棧橋出港**



竹芝客船ターミナルで東京災害ボランティアネットワーク事務局長・福田信章さんの説明を聞く参加者。

**12月19日(土)**

**05:00 三池港 到着**

**08:30 みやけじま『風の家』集合**

**09:00 訪問宅へ向けて出発**

**16:30 解散**

**19:30 交流会(みやけじま『風の家』)**

<参加者の感想から>

◆参加のきっかけ

- ・来年から就職し仕事が始まるので、学生で時間に自由がある時にボランティアに参加したいと思った。
- ・昨年、島の人々とのあたたかい交流があったので、今年も参加した。
- ・CO 災ボ養成講座を修了し、実践したいと考えた。



「風の家」で訪問前のミーティング  
参加団体混合の班で作業に出発！！

「風の家」事務局長・坂上さんより参加される三宅高校の校長先生、三宅中学の副校長先生、各学校の先生たち、そして三宅高校の生徒 2 名の紹介と作業の諸注意。

**12月20日(日)**

**09:00 島内視察 出発**

**13:40 錆が浜港 出帆**

**19:50 東京港(竹芝棧橋)到着**

いつまでも手を振って見送ってくださった  
「風の家」のみなさん



窓掃除、布団干し、普段できない場所の希望が多くありました。手際よくすすめ、昼食は、交流を兼ね、みんな一緒のお弁当！

<参加者の感想から>

◆印象に残った出会いや出来事は

- ・島民の方々が、本当にやさしく、楽しく元気になりました。
- ・ひとりで暮らす高齢の女性のやさしさ、強さに感動します。それを支える「風の家」やそのほかの方たちも素晴らしいと思います。
- ・「生活の知恵をしぼりながらの毎日」と、話を聞かせて頂きました。



## 東京災害ボランティアネットワーク主催



# いま、わたしたちに、できること 2016~KOBE MEMORIAL 1. 17灯りのつどい~

阪神・淡路大震災から21年、この間に、私たちはどんなことに気づき、  
どんなことを学んだでしょうか？

阪神・淡路大震災以降、伊豆大島・三宅島噴火被害などの自然災害で、数々の被災地と呼ばれる地域が増えています。

ボランティアには多様な活動が求められます。今回は、この灯りのつどいで炊き出しを実践することで、ボランティア同士のコミュニケーションの取り方などを体験から学ぶ機会になりました。

コープ災害ボランティア会員（以下CO 災ボ）は17名の参加でした。



17:46 参加者で黙祷  
(発災時間は5時46分)

## 炊き出し訓練！



◆イベント会場でのテント設置をCO 災ボ会員も手伝いました。手際良くテントを組み立て、ブースのレイアウトを完成。炊き出しのブースには、養生のためのブルーシートやコンパネも設置して準備が整っていきました。  
※テントを設置する時には、一斉に足を持ち上げなければいけないので、声掛けが重要です。



◆炊き出しブースでの活動手順や注意事項など、CO 災ボ幹事からの説明で共有し、作業に入りました。



◆約600食(当日配布想定数)の提供は、分量・調理の仕方・配ぜんの方法など考え工夫を凝らすことが必要となります。  
※みんなで考え話し合いながら作業を進めていきました。



◆大きなかまどをセットし、大きなかまどで調理します。  
※防火エプロン着用で調理に取り掛かりました。



おしるこ白玉入り

450食(東京災害ボランティア発表)を提供しました。

### <他のブースでも様々なアピールがありました>



パネル展示

キャンドル作り

防災クイズ

煙体験テント

■この機会を得て、来たるべき災害に備える気持ちを新たに、市民の防災意識を向上していくよう活動していきましょう■